

科目名	看護生涯学習特論		D3-209	担当教員名	平河 勝美、吉本 圭一
単位数	1単位		選択	配当年次	1年次・第2セメスター(前半)
曜日・時限	水曜日・6限目			教室	オンライン授業
授業概要	<p>看護者は生涯にわたって学習し、能力を開発し続ける責務を有している。この授業では、生涯学習や省察的学習(リフレクション)などの基本的概念を踏まえ、看護者にとっての生涯学習の意義についてディスカッションを交えながら理解を深める。また看護者のキャリア志向に関して考察するとともに、看護生涯学習を権利や倫理との関係において検討する。</p>				
到達目標	<p>1) 看護者の生涯学習の実態、看護教育制度との関係を理解できる。 2) 看護者の生涯学習や省察的学習の意義を理解できる。 3) 看護者のキャリア志向の実態、諸要因との関係を理解できる。 4) 看護生涯学習について権利や倫理の観点から理解できる。</p>				
回	日程	見出し	内 容		実践的な 授業方法
1	9/21	基本的概念 (吉本)	基本的で主要な概念である「生涯学習」「職業とキャリア」「学校制度と能力開発」「経験的学習・省察的学習(リフレクション)」について概説する。		
2	9/28	看護者の学習ニーズ (平河)	看護者の学習ニーズの内容、関係する属性や要因について実態を理解する。看護者にとっての学歴の意味を検討する。[ディスカッション]		○
3	10/5	看護者の生涯学習の意義 (平河)	ナラティブ・アプローチの発想と手法を踏まえて看護者の語りを解釈し、看護者にとっての生涯学習の意義を考察する。[ディスカッション]		○
4	10/12	看護教育制度と看護者の生涯学習 (平河)	看護教育制度の複線型構造の歴史的変遷を概観し、看護者への学習機会提供の観点から考察する。[ディスカッション]		○
5	10/19	省察的学習と看護者の発達 (平河)	デューイからメジローやショーンへ引き継がれた省察的学習論の発展経過を概観する。それらの議論とベナー看護論との比較検討も行う。[ディスカッション]		○
6	10/26	看護者のキャリア志向と背景 (平河)	看護者のキャリア志向を、看護実践能力の発達段階、組織との関係、看護職細分化の動向などとの関係において考察する。[ディスカッション]		○
7	11/2	看護生涯学習と権利/倫理 (平河)	看護者の生涯学習について、学習権と教育権、職業倫理の観点から検討する。[ディスカッション]		○
8	11/9	総括 (平河)	これまでの講義とディスカッションを踏まえ、看護生涯学習について多角的に議論する。レポート課題のテーマや論じ方を検討する。[ディスカッション]		○
キーワード		看護者、生涯学習、省察的学習(リフレクション)、看護キャリア、権利/倫理		履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	『キャリアを拓く学びと教育』(吉本圭一著・科学技術出版・2020年)ほか、授業中に適宜紹介します。			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①期末試験(レポート)(80%、うち吉本分20%、平河分60%)、②授業中のディスカッションへの参加・貢献度(20%) [①授業内容に関係しているか、明確な主張があるかなどを評価する。]			
授業時間外で必要な学修		看護を深く理解するに至った臨床経験、大学院進学後の自分の変化などを振り返っておく。			
学生へのメッセージ		学習する主体として、豊かな臨床経験をもとに省察的に学んでください。平河担当回では、授業の最後に、わかったことや疑問などをミニットペーパーに記入してもらいます(次回に必要なフォローをするため。成績評価には用いません)。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。